

原発ゼロ！子どもたちに安全な未来を

日本共産党中央区議会議員

奥村あきこ レポート



奥村あきこ事務所 中央区月島1-24-2
電話03-3531-7136
中央地区委員会 電話03-3551-6820



ブログもご覧ください 『奥村あきこ』 で検索！

日本共産党 8議席→21議席 「議案提案権」を獲得

「自共対決」時代の幕開け 安倍政権の暴走阻止に全力

12月14日に投開票された第47回総選挙で、日本共産党は、公示前の8議席を大幅に上回る21議席を獲得しました。

比例代表は全国で606万票余（得票率11・37%）を得て20議席に、小選挙区は沖縄1区で赤嶺政賢氏が当選し、比例、小選挙区あわせて公示前の8議席から2・6倍となる21議席に大躍進し、予算を伴わない法案を衆院で単独で提出できる「議案提案権」を獲得しました。

中央区での共産党比例得票率
前回の2倍に

中央区では、比例得票数を前回（2012年）から倍増させ、比例東京ブロックで笠井亮氏、宮本徹氏、池内さおり氏の3人が当選を果たしました。
小選挙区東京2区では、石沢のりゆき氏は当選には至りませ

【小選挙区の結果】中央区

東京2区全体・・・中央、文京、台東

候補者名	党派名	得票数	得票率
辻 清人	自民党	28,720	47.40%
おおくま利昭	維新の党	12,083	19.93%
中山よしかつ	民主党	11,971	19.76%
石沢のりゆき	日本共産党	6,521	10.76%
犬丸 勝子		1,302	2.15%

候補者名	党派名	得票数	得票率
辻 清人	自民党	103,954	42.63%
中山よしかつ	民主党	58,407	23.95%
おおくま利昭	維新の党	44,550	18.27%
石沢のりゆき	日本共産党	32,296	13.24%
犬丸 勝子		4,668	1.91%

前回は、得票数・率ともに前回より大きく伸ばしました。

【比例代表の結果】中央区

東京全体

議席数

自由民主党	23,652
維新の党	11,735
民主党	8,251
日本共産党	7,502
公明党	4,450
次世代の党	2,929
生活の党	1,665
社会民主党	980
その他	325

自由民主党	1,847,986	6
民主党	939,795	3
日本共産党	885,927	3
維新の党	816,047	3
公明党	700,127	2
次世代の党	253,107	0
生活の党	156,170	0
社会民主党	129,992	0
その他	34,245	0

11月に勝利した県知事選挙の枠組みでたたかった沖縄の小選挙区では、沖縄1区の赤嶺氏当選以外にも2、3、4区全ての選挙区で、新基地建設反対でた

国民との共同ひろげ
「オール沖縄」が完全勝利



石沢のりゆきさんと共こうったえ (12月7日、月島にて)

たかった「オール沖縄」の候補が
当選しました。

県民を裏切った自民党の候補者
は小選挙区で全員敗北し、重要な
民意が示されました。

「自公圧勝」は事実ではない

総選挙結果を受け、安倍首相は、
「この道しかない」との訴えが
「支持された」とのべ、経済政策
だけでなく安保・外交や原発、憲
法などでも、自らの政策を推進す
る考えを明らかにしました。

しかし、総選挙の結果は、安倍
政権の政策を積極的に「信任」し
たものでも、「白紙委任」を与え
たものではありません。

自民党が獲得した議席は前回当
選者数も改選時の議席数も下回り、
与党の公明党とあわせてようやく
議席を維持したにすぎません。

投票率は史上最低の52・66%ま
で下がり、自民党の得票率は有権
者全体では比例代表で16・99%、
小選挙区でも24・49%です。

自民党が議席で多数を得たのは、
大政党有利に民意をゆがめる小選
挙区制によるもので、国民のなか
での自民党と安倍政権への支持は
圧倒的少数です。

本格的な「自共対決」時代へ

今回の総選挙は、野党の中で、
安倍政権に最も厳しく対決し、対
案を示した日本共産党だけが議席、
得票ともに躍進したという事実は、

一つの民意を示しています。

安倍自公政権は、今回の結果で
沖縄から突き付けられた民意、日
本共産党躍進に示された民意を、
真剣に受け止めるべきです。

民意を踏みにする政治か、民意
を受け止める政治か、「自共対決」
がいつそう鮮明です。

安倍政権の暴走阻止を 国民との共同で

安倍政権がこれからすすめよう
としていることは、消費税10%、
アベノミクス、集団的自衛権、原
発再稼働、沖縄新基地建设——ど
れをとっても、国民多数の意思に
背くものばかりです。それを強行
するならば、大きな矛盾が噴き出
すでしょう。

安倍首相は、とりわけ、総選挙
でまともに主張もしなかった「改
憲」を加速させることに意欲を燃
やしていますが、多くの国民は改

憲を望んでい
ません。

今年7月に
NHKが実施

した「平和観についての世論調査」

では、「日本の平和を守っていく
ために、今、最も重視すべきこと
は何か」との問いに、「武力に頼
らない外交」が53・4%だったの
に対し、「武力を背景にした抑止
力」はわずか9・4%でした。

「戦後、憲法9条が果たした役割
を評価するか」に対しては76・5
%が「評価する」と答えています。

安倍改憲勢力とのたたかいが、
いよいよ重要となつていきます。

安倍政権の暴走阻止のため、日
本共産党が躍進して得た力を生か
して奮闘するとともに、憲法問題
のみならず、あらゆる分野で一致
点にもとづく国民との共同「一点
共闘」をさらに発展させることが、
ますます必要だと感じています。

